

5 夢づくり推進表彰の実施

(1) 夢づくり大賞（知事表彰）

【表彰式】

日時：平成22年5月31日（月）

場所：県庁3階特別応接室

食育でつなぐ地域の輪

（夢づくり新見健やかネット会議 会長 中川初美）



市と栄養改善協議会や愛育委員会等が協働し、食育推進のイベント（共生高校等3会場 延899名）の開催をはじめ、地産地消やメタボリックシンドローム予防の講座（8会場 294名）など、食文化・伝統料理の継承や世代間交流による地域の活性化に大いに貢献した。

吉備野古（いにしえ）ツーリズム「みちくさ小道」の開発

（特定非営利活動法人吉備野工房ちみち 理事長 加藤せい子）



県や市と協働し、吉備路・総社エリアの地域資源を発掘し、総社ブランドの開発や地域の魅力を再発見するための体験交流プログラム「みちくさ小道」（H21年度古墳めぐり等 延べ829名参加）を実施するなど、コミュニティビジネスを活用した地域の活性化に大いに貢献した。

新規就農希望者を地域で受け入れる取組

（平川村定住推進協議会 会長 中岸廣之）



県、市、JA、地域住民で新規就農希望者の受入体制のための協議会をつくり、農作業や収穫体験、地域行事体験に取り組んだ結果、県外から2組（夫婦）の定住・就農者を確保するなど、高齢化と後継者不足の課題を抱える中山間地域のモデルとなる取組を行い、定住推進に大いに貢献した。

都市住民との農業体験交流による地域活性化への取組

（下高末棚田保全組合 組合長 片山幸一）



国や県と協働し、都市住民が田植えや稲刈り等の農業体験を行い、収穫米を受け取る棚田オーナー制度（耕作放棄地約60a）により、岡山市や倉敷市の住民との交流（延べ345名）を行っており、農地再生や地域の活性化に大いに貢献した。

